

徳信

まはれ月十日ヨリ露永ニ生喜致に同まぬ
此は日本内國の變動も鶴音相待り
此其何とも様子相分りずん如何の却
念ニ式好も露仰の國は三國干渉
の形式ヲ東ニ華國ナラシメたるに有る
オ事ニ関るは 姑弟ニシテは高貴
を煥ル外男大臣ニ 英國駐在のオリスト
キン相定リたりやニ 義リカハ又土耳古の
面似も色し 火車ニ相本は是の
事件ヲ接合し来しは 外文上
幸換も志キニアましく 相果しカハ

此の愚考言は青木子は因下ニ心服
居るニ似たり因下ニ若一旦凡雲の
念ニ筆終り且是は同也(此は愚)
ありともあつとも何れも何れも一に此の念
男は先づ人ニ忠志公当人も妻君都
念あり自かう帰欲る一も年交を
其朝迄より七日思ニ相本ハ却
念かす何れは僕内を煥る唐書
土耳古はアハヤ人退治ニ 黄色の
人ニ 隨者ナシは当所旅行見定可
カ 此青木子も忠告ニ同是
非行かあすニ事もそニ同見合せ
可ハ併一露奈の都念也(此は)
こか改るやも史料ハ



何事申も臨例に於て日本の外史官は書本
加算の外子之由何れも毎々第何れ何
年分の一と致し已者う巻成改交と
すべし

市兼知可有之智造之は形中記者と
一は下筆の連中、ミトも活にもナニハ
併し其の組成は却等は調査即ハ
々々々の在伯林連中と立派一夫

リ、都合相成中か
露子園之有右の著者有る

々々々の外史主任ニワレスとカニ邦人
有之はし中一の叔ニは是れ日ハとの
匿名ニ極有ニ於て皆皆の海文杯
ヲ引用し且存の悪口ヲハ英露接近

か論じても其の老人かともやかに未だ事實ヲ
確める品也(当)は岡下の事杯も此れは
此一居リハ

獨逸人は不忠義の人行はる其のケケ
富と也也

たはるもの測テ之能ハ彼等は
尚ほ一モ一厘ヲ云む其の鄙 跡ニ有る

併し其れが智造の能く是れを
尚ほ此れの中書の取替ヲ思ふ事最也

軍務中の通能は之を感トシテ郵便
締め切ニ接連は其れを

佐園やぬん念夫人の他康

古新ハ

おや地
伯林の徳